

盛岡 タイムズ

発行所 株式会社盛岡タイムズ社 <http://morioka-times.com>
〒020-0015 盛岡市本町通3丁目9番33号 盛岡タイムズ 検索
電話(代表)019-653-3111 ファクス019-622-5119
購読料:月決め 2,262円 1紙り 100円(税込)

きょうの紙面
米内小で「味覚の授業」……6面
バスセンターで市が回答……7面

動物と共生できる街へ

盛岡市長おでかけトーク「猫カフェもりねこ」

盛岡市菜園の猫カフェ「もりねこ」を19日、同市の谷藤裕明市長や保健所の職員らが訪問した。市長が市民と直接懇談し、団体の活動や市政について意見交換する「市長おでかけトーク」の一環。同カフェを運営するNPO法人もりねこの工藤幸枝代表理事やスタッフ、ボランティアらが参加し、ペットや野良猫に対する同市の取り組みや動物愛護センター設立についての意見を交わした。

の谷。溪谷の両側にはブナなどの原生林が広がり、紅葉の名所として知られている。18日、玄武の大岩屋の向かいにあるそば店の玄武洞茶屋周辺には、紅葉を見ようと多くの人が見物に訪れていた。同店の野坂宝治店主(46)は「今年は台風の影響もなく、例年通り。少し暖かい日が続いているが、週末くらいには最高の風景が見られるかもしれない」と秋の情景を期待した。

換をする「市長おでかけトーク」の一環。同カフェを運営するNPO法人もりねこの工藤幸枝代表理事やスタッフ、ボランティアらが参加し、ペットや野良猫に対する同市の取り組みや動物愛護センター設立についての意見を交わした。

同カフェは2014年1月にオープン。猫カフェを運営しながら猫の保護や譲渡活動を行い、これまでに保健所などから253匹を保護、208匹を里親に譲渡した。16年1月にはNPO法人としての法人格を取得。猫の適正飼養についての啓発・教育活動にも取り組んでいる。

しについて▽盛岡市の野良猫対策について▽盛岡市の動物愛護センターについての3点を話し合った。もりねこは15年10月、「盛岡市に動物愛護センター設立を求めた請願」を同市議会に提出、全員一致で採択された。同じ目的のため募金活動も、同年



懇談に同席した猫の「しずか」ちゃん(12歳)と触れ合う谷藤市長

12月から継続している。谷藤市長は「現在、市で必要とするセンターの規模や機能の検討をしている。今後、センター建設の可否を含めて方向性を決定する。準備期間中にも、保護動物の適切な飼養、保管ができるよう検討している」と話す。保健所の佐藤圭参与は「命の大切さを伝える、動物との正しい関わり方を学べる、収容される動物にも優しい施設を目指していきたい」と考えを示した。

もりねこは、犬猫の殺処分ゼロを目指す「もりねこZEROキャンペーン」も進めている。谷藤市長は「病気やけがなどの事情でやむなく安楽死させることはある」としながら、同キャンペーンへの賛同を約束した。

工藤代表理事は懇談を終え「市長と直接話をする機会はこれまでなく、有意義な話が出て良かった。このことと今後、いろいろな人から協力が頂けると思つ」と話し、さらなる活動への意欲を燃やした。

盛岡タイムズ 2016年10月20日付
この記事・写真等は盛岡タイムズ社の許諾を得て掲載しています。